

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2018-121658 (P2018-121658A)

【公開日】平成 30 年 8 月 9 日 (2018.8.9)

【年通号数】公開・登録公報 2018-030

【出願番号】特願 2018-86101 (P2018-86101)

【国際特許分類】

A 2 3 P 30/10 (2016.01)

A 2 3 G 1/22 (2006.01)

【F I】

A 2 3 P 30/10

A 2 3 G 1/22

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 14 日 (2020.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

流動状態の食材を成形空間内で成形固化させる食品成形器であって、
凹状成形面を有する第 1 部材と、
凹状成形面に対面して前記成形空間を形成する凸状成形面を有する第 2 部材と、
を備え、

前記第 2 部材の前記凸状成形面の一部には前記第 1 部材の凹状成形面と対面している状態において前記凹状成形面から離れる方向に窪む空気溜突起が形成される食品成形器。

【請求項 2】

請求項 1 記載の食品成形器であって、
前記第 2 部材は、可撓性材料にて形成されている食品成形器。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の食品成形器であって、
前記凸状成形面は、前記凹状成形面のオフセット形状に形成されている食品成形器。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載の食品成形器であって、
前記第 2 部材の前記凸状成形面は、半球形状に構成されている食品成形器。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 の何れか一項に記載の食品成形器であって、
前記空気溜突起は、前記凸状成形面の中央部に設けられている食品成形器。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 の何れか一項に記載の食品成形器であって、
前記空気溜突起は、その頂部が平坦状に形成されている食品成形器。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 の何れか一項に記載の食品成形器であって、
前記第 2 部材の前記凸状成形面の縁部には、前記成形空間の最深且つ中央へ向かう方向に傾斜するテーパ面が設けられている食品成形器。

【請求項 8】

請求項 7 記載の食品成形器であって、

前記テーパ面の勾配は 0 度から 45 度の範囲内である食品成形器。

【請求項 9】

請求項 1～8 の何れか一項に記載の食品成形器と、

前記食品成形器によって形成された第 1 成形体が二つ組み合わされて構成される中空体の内部空間に収容可能な第 2 成形体を成形する第 2 食品成形器と、
を有する食品成形キット。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の食品成形キットであって、

前記食品成形器と前記第 2 食品成形器とが一体化されている食品成形キット。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る食品成形器は、流動状態の食材を成形空間内で成形固化させる食品成形器であって、凹状成形面を有する第 1 部材と、凹状成形面に対面して前記成形空間を形成する凸状成形面を有する第 2 部材と、を備え、前記第 2 部材の前記凸状成形面の一部には前記第 1 部材の凹状成形面と対面している状態において前記凹状成形面から離れる方向に窪む空気溜突起が形成され、前記空気溜突起は、前記成形空間内で食材が成形固化されたとき当該食材側に向かって変形可能である。本発明に係る食品成形器は、流動状態の食材を成形空間内で成形固化させる食品成形器であって、凹状成形面を有する第 1 部材と、凹状成形面に対面して前記成形空間を形成する凸状成形面を有する第 2 部材と、を備え、前記第 2 部材の前記凸状成形面の一部には前記第 1 部材の凹状成形面と対面している状態において前記凹状成形面から離れる方向に窪む空気溜突起が形成される。